

大河ドラマで深まる縁

田沼意次ゆかりの牧之原市

大河ドラマ『べらぼう〜蔦重栄華乃夢斬〜』で、幕府の絶対的権力者として登場した老中・田沼意次。意次の老中辞職後、白河藩主・松平定信が老中となり、幕政を担い続けた。国を良くするために奔走したふたりの老中を対比しながら、意次とのお膝元・静岡県牧之原市の魅力を紹介します。

牧之原市 Information

静岡市と浜松市の間に位置し、駿河湾に面した人口4万人ほどの緑豊かな市です。平成17年に旧相良町と旧榛原町の合併により誕生し、本市と同様、今年で市制施行20周年を迎えます。



お知らせ

「広報まきのほら」9月号に本市の紹介記事が掲載されています。ぜひご覧ください。



幕府老中としての田沼意次

田沼意次は享保4年（1719）に幕府旗本の家に生まれ、後に側用人（将軍の側近）と老中を兼任するまでに出世し、田沼時代と評される一時代を築きました。

意次は切れ者であるだけでなく、9代将軍徳川家重から「またうども（正直者・律義者）」として信頼され、10代将軍家治になってからも引き続き重用されました。

「享保の改革」以後、再び赤字に転落した幕府財政を立て直すため、俵約に加え、株仲間の積極的公認や、貿易拡大と鉱山開発など、さまざまな増収策を講じました。

民間の活力を使って経済を活性化させる方針が評価された一方で、幕府の利益追求のためにさまざまな負担を強いたことで人々の不満が高まり、家治が没して後ろ盾がなくなると失脚しました。

相良藩主としての田沼意次

明和4年（1767）に意次が側用人になると、2万石に増増され、相良（現在の牧之原市）に築城することを許されました。

意次は、相良城築城とともに城下町の整備を行いました。

また、それまで船で渡っていた萩間川に橋をかけ、そこを起点に東海道（藤枝）に続く、通称「田沼街道」をつくりました。

これらの政策により、相良の人口は大きく増加し、人や物の往来が活発になりました。意次は、優れた政治手腕で相良を発展させた立役者でもありました。



田沼意次肖像画（牧之原市史料館蔵）

意次と定信、ふたりの幕政

ふたりは「国を支えるために幕政の改革に取り組んだ」という点で共通していますが、時代ごとに幕府が抱える課題が移り変わり、政治の方針は大きく異なりました。

— 経済活性化を主導 —

田沼意次

老中在職期間 14年
(1772~1786)

— 寛政の改革を主導 —

松平定信

老中在職期間 6年
(1787~1793)



| | | |
|--|------------|---|
| ◇年貢に代わる新たな収入源の確保（享保の改革後、年貢収入は頭打ちとなり、減少していた） | 幕府が抱える主な課題 | ◇天明の飢饉などで疲弊した農村や民衆の生活や社会の立て直し ◇政治をする立場である武士たちの墮落の抑止・改善 ◇ロシアなど日本近海に現れる異国船への湾岸警備対応 |
| ◇倭約令を出し、大名への支援中止などで支出削減 ◇商人など民間と結んで上納金（冥加・運上）を得て増収をはかる ◇削られていた貿易量を増やしたほか、鉱山（金銀銅山）を開発して増収を目指す | 主な政治の方針 | ◇農村を復興し、米の生産を増やす ◇災害対策の備荒貯蓄（困米、七分積金） ◇武士にふさわしい振る舞いをさせる（文武奨励） ◇日本との交易を求めたロシアに「国法」により長崎以外の入港は認められない旨を示した（「鎖国」認識の始まり） |
| 幕府が民間からの提案（献策）を積極的に取り入れたため、蘭学など新たな知識を持つ人々が活躍し、文化の発展や経済の活性化につながった。 しかし、民間からの売り込みや提案採用の見返りなどで幕府担当者への贈答に拍車がかかり、お金を持つ人が優遇される状況となった。 | 結果 | 大きな飢饉の後のため、備荒貯蓄や江戸にきた困窮者対策など弱者を救う対策を行ったほか、貧乏のため不良化した武士の引き締めを図った。 ぜいたくの制限や倭約令など、緩んでいた規制を徹底し、さまざまな階層の人から厳しい政治と批判された。 |

寛政の改革に継承された意次の政策

老中となった定信が主導する幕府は、社会秩序を乱した責任を問う、意次を厳しく処罰しています。

一方で「寛政の改革」に意次の政策が一部継承されていることから、定信が意次の政治を生かそうと考えていたことがうかがえます。

倭約令の継続

田沼政権の後半は幕府財政が悪化し、7年間の倭約令を出しました。途中で定信が老中となってからも、期限まで倭約令を継続しました。

南鐐二朱銀の流通

田沼政権で発行された南鐐二朱銀は、金と銀の使い勝手を良くする画期的な貨幣でした。定信は、これを都市部だけでなく地方まで流通させる対策をしました。

商人の資産の利用

定信は、商人と結束して経済を発展させた田沼政権の手法を取り入れました。寛政の改革では「御用達商人」を任命し、商人に資金を出資させて政策を実行しました。また、幕府が商人に公金を貸し付け、その利子で増収を図りました。

秋も盛りだくさん！ 松平定信関連イベント

定信が老中として登場し、ますます盛り上がる『べらぼう～蔦重栄華乃夢嘶～』。

今後、企画展やトークショーなど、大河ドラマに関連するイベントが開催されます。

ぜひ、お楽しみください。

問 白河市大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会事務局
(観光課内) ☎05526

大河ドラマ『べらぼう～蔦重栄華乃夢嘶～』展 (NHK)

実際に大河ドラマの撮影で使われた松平定信(田安賢丸)の衣装や小道具などを展示します(観覧無料)。

●期間 ▷前期 8月19日(火)～9月28日(日)

▷後期 10月15日(水)～12月7日(日)

●時間 午前9時～午後4時30分

※9月13日(土)～11月9日(日)は特別企画展開催に伴い、延長あり

●会場 小峰城歴史館 ロビー

●主催 NHK財団(後援: NHK福島放送局、協力: 白河市)

開館時間や休館日の
詳細は市ホームページへ▼



牧之原市
特産品も
あるよ!



さだのぶくん

ゆかりの地フェア

●期間 8月19日(火)～9月28日(日)

●時間 午前9時30分～午後5時

●会場 小峰城二ノ丸茶屋

大河ドラマ『べらぼう～蔦重栄華乃夢嘶～』トークショー

“W定信 白河に里帰り”



俳優 井上 祐貴さん



俳優 寺田 心さん

大河ドラマ『べらぼう』で松平定信役を演じる井上祐貴さんと田安賢丸役を演じた寺田心さん、制作統括の藤並英樹さんをお迎えし、ドラマの見どころや舞台裏など『べらぼう』の魅力をたっぷり語っていただきます。入場無料ですが、事前の申し込みが必要です。

●日時 10月19日(日)開演 午後2時

終演予定 午後4時(開場 午後1時20分)

●会場 コミネス大ホール

●申し込み方法 NHKサイトの専用申し込みフォームからお申し込みください。

※申し込み多数の場合、抽選となります。

●申し込み期限 9月17日(水)午後11時59分

●主催・問い合わせ先 NHK福島放送局

☎024-526-4660(平日午前9時30分～午後6時)



白河歴史フォーラム2025

「松平定信公をとことん知ろう！」

大河ドラマ『八重の桜』などの時代考証を務める静岡県歴史博物館館長の大石学さんと、歴史好きとして知られるタレントの松村邦洋さんをお迎えし、松平定信をとことん知ることができるフォーラムを開催します。入場無料ですが、事前の申し込みが必要です。

●日時 10月26日(日)開演 午後2時
終演予定 午後4時(開場 午後1時30分)

●会場 コミネス大ホール

●内容 基調講演、トークセッション

●申し込み方法

整理券の受け取り、または
電子申請サービス入力フォーム



●整理券配布場所

しらかわ観光ステーション、コミネス

※1人につき2枚までの配布

※定員になり次第、配布終了

※このほか、9月13日(土)から特別企画展「松平定信の文化力づくり・しらべ・うつし・つたえる」が開催されます。詳しくは6ページをご覧ください。

風土や歴史を生かした文化が発展



Enjoy!!
マリンスポーツ

さがらサンビーチ

静波海水浴場

美しいビーチが広がり、マリンスポーツが盛ん。全国各地から多くの海水浴客やサーファーが訪れ、にぎわいを見せている。



静岡牧之原茶

全国でも有数のお茶の産地。茶栽培に適した温暖な気候と日照時間の長さにも恵まれている。ここでは深蒸し茶が主流。

牧之原市の今
観光と文化を楽しむ

城下町の風情が残る歴史のまち



牧之原市史料館

田沼家ゆかりの史料が200点以上展示されており、意次の功績や牧之原市の歴史を知るには外せないスポット。



仙台河岸

意次の失脚後に打ち壊されてしまった相良城の数少ない遺構。築城の際、仙台の伊達家から寄進された石材で築かれた。



平田寺

弘安6年(1283)開創で田沼家代々の御位牌をまつる寺院。本堂には、田沼家専用の風格ある玄関が設けられている。

自然の恵み!



いちご



芋切り干し



しらす



波乗りレモン